

## 米国の同時多発テロ事件の報道に接して

まるで、飛行機がビルの中に入って消えたように見えた。しかし、次の瞬間に大爆発、何だこの映像は……。続いて、超高層ビルの崩壊場面。まるで、周到に準備した解体作業のような……。しかし、中には何千人もの人が入ったままだ。何という惨劇、なんという蛮行。繰り返し流される映像だけが頭の中に残像として残る。

まともな人間のすることとは思えないが、あのような形の攻撃をされては、とても防ぎきれものではない。脈々と築いてきた文明の結末がああ映像では……。と、無力感を感じざるを得ない。この文章を書いている時点では、マスメディアはアメリカの報復攻撃が、いつどのような形で行われるかを競い合って論じている。報復合戦にならなければよいが……。

ある人は、今回の事件を「文明の衝突」という視点から述べていた。グローバル化があまりにも急激に進んだ結果、文明と文明が衝突を起こしているというのである。世界中に異なる文明があることは認めるとしても、せめて「命の大切さ」という価値観くらいは共有できないものか？それすら否定されては、何を信じてよいのか分からない。この事件をきっかけとして、私たちは20世紀の延長としての21世紀ではなく、まったく新しい未知の世紀に突入したと実感させられた。世界の構造が変わってしまうかもしれない、そのくらい今回の出来事は重大なことなのだろう。

犠牲になられた多くの方々のご冥福を祈るとともに、さらに一人でも多くの方が救出されてほしいと願う次第である。また、この大規模テロによって深く傷つかれた人々の精神が、早く正常な状態に回復されることを望むばかりである。

(防災雪氷研究室長 加治屋 安彦)

\* \* \* \*

表紙右上記号 ISSN 1346-6747の説明

ISSNはInternational Standard Serial Number (国際標準逐次刊行物番号)の略で、逐次刊行物に付与される国際的なコード番号で、ISSD (国際逐次刊行物データシステム) という組織のもとで逐次刊行物の組織や検索に利用されます。

この番号は国立国会図書館ISSD日本センターから割り当てられたものです。